

# 第33回 JST数学キャラバン

2021年

9月11日(土) 13:25~16:20

中部大学

アクティブラーニングホール

+オンライン配信

(状況によりオンラインのみに変更)

対象

高校生及び一般 (内容は高校生向け)  
事前申込が必要: 締め切り9月6日月



## Program

13:25~13:30 開会挨拶

13:30~14:20

講演 データを読み解く力  
—いま数学が必要とされるワケ—

井元 佑介 京都大学高等研究院特定助教

14:30~15:20

講演 次はどうなる、不思議な数列

石井 志保子 東京大学名誉教授・東京工業大学名誉教授

15:30~16:20

パネルディスカッション、質疑応答

パネリスト: 講師2名と創発学術院

数学専門部会より以下の2名

森 重文

京都大学特別教授、中部大学特別招聘教授

山口 佳三

北海道大学名誉教授・元総長、  
中部大学学園顧問、京都大学監事



本講演の詳細と参加のお申込はこちから

<http://www.cuaes.jp/math/>

主催/中部大学創発学術院

共催/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

後援/愛知県 愛知県教育委員会

名古屋市教育委員会 春日井市教育委員会

お問い合わせ先

 CUAES

中部大学創発学術院 桑畠 裕子  
E-mail:cuaes@office.chubu.ac.jp

知らない世界は  
まだまだある

参加費  
無料

知らない世界はまだまだある

数学ワークショップは、学校の勉強ではなかなか味わえない  
数学の魅力について、最先端の研究者がわかりやすく紹介するイベントです。  
今回は、身近なテーマに潜む意外な数学から、数学と社会との  
繋がりについてまで、2人の先生に語っていただきます。



井元 佑介

京都大学高等研究院特定助教



## データを読み解く力 —いま数学が必要とされるワケ—

さまざまな情報や現象がデータ化される現代で、データをどのように解釈するかが社会的に重要な課題となっています。そのデータの解釈の手段として用いられるデータ解析はこれまでの幅広い数理的研究の産物と言えます。本講演では、データ解析における数学の役割の紹介を通して、現代に必要なデータを読み解く力と数学の関係やその魅力についてお話しします。

## 次はどうなる、不思議な数列

不思議な数列を通して、数学の特徴を、他の科学と比べてみます。

石井 志保子

東京大学名誉教授 東京工業大学名誉教授



## アクセス

中部大学春日井キャンパス  
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

### JR神領駅から名鉄バス

JR中央本線「神領(じんりょう)」駅下車(名古屋駅より「普通」で約26分)、北口「中部大学バスのりば」から約10分。

### JR高蔵寺駅から名鉄バス

JR中央本線・愛知環状鉄道「高蔵寺(こうぞうじ)」駅下車(名古屋駅より「快速」で約26分)、北口8番のりばより名鉄バス「中部大学」行に乗車(約10分)。

### お車ご利用の場合

東名高速道路春日井インターチェンジより約5分。

